

第 11 回 貨幣の機能と金融政策 (中央銀行の役割とは)

本講義目的

- 貨幣の役割とは何か。
- 金融システムはどのように構築されているのか。
- 中央銀行の役割とはどのようなものだろうか。

1 貨幣のもつ3つの機能

どうして人々は貨幣を保有するのか？

物々交換 (要求の二重の一致)

交換媒介機能, 価値の保存, 価値の細分化

2 貨幣の種類

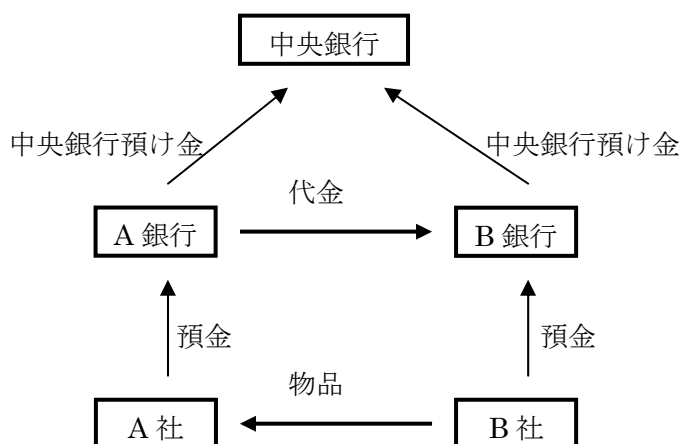
マクロ経済学における貨幣とは、通常、現金と預金の合計をいう。

分類方法 (流程度, 流動性)

貨幣の種類

M_1	現金通貨+預金通貨 (普通預金, 当座預金などすぐに現金化できる要求払い預金)
M_2	M_1 + 定期性預金 (準通貨)
$M_2 + CD$	$M_2 + CD$ (譲渡性定期預金)
$M_3 + CD$	$M_2 + CD$ に郵貯, 農漁協, 信用組合などの預金, 信託元本を加えたもの。

3 金融システムの概観



市中銀行は自ら預かる一般者の預金の一定割合を中央銀行に中央銀行預け金 (中央銀行当

座)として預けておくことが義務付けられている。その割合を法定預金準備率とよぶ。

4 マネー・サプライとハイパワード・マネー

マネー・サプライ（貨幣量）は、経済に流通する現金と預金の総和である。市中に流通している現金通貨を C 、市中銀行の預金の総額を D とすると、マネー・サプライは、

$$M = C + D$$

となる。

ハイパワード・マネーとは、中央銀行が民間経済主体に対して負っている負債の総額のことをいい、ベース・マネーともマネタリー・ベースともよばれる。市中に流通している現金通貨を C 、中央銀行預け金の総額を R とすると、ハイパワード・マネーは、

$$H = C + R$$

となる。中央銀行はハイパワード・マネーの供給を通じて、貨幣の供給量を変化させる。

人々がどれ位の割合の現金を保有するかを、現金預金比率（現金性向） α を用い

$$C = \alpha D$$

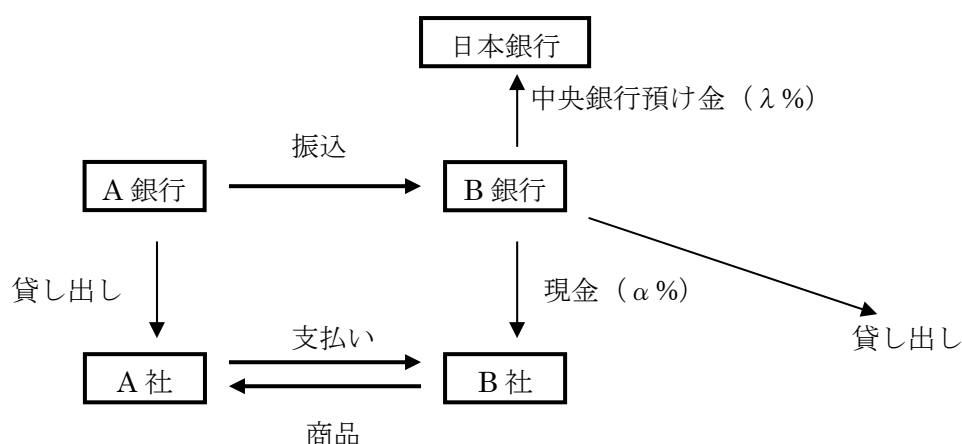
と示す。一方、法定預金準備率を λ とすると

$$R = \lambda D$$

という関係式が定義できる。

上の 2 式を利用し、ハイパワード・マネーとマネー・サプライの間で、次の関係式を導くことができる。

$$M = \frac{\alpha + 1}{\alpha + \lambda} H$$



この式は、ハイパワード・マネーの一定倍でマネー・サプライが増加することを示しているが、この倍率 $(\alpha + 1) / (\alpha + \lambda)$ のことを信用乗数とよぶ。信用乗数の大きさは、現

金預金比率 α と法定準備率 λ の大きさに依存する。 α と λ の大きさが小さいほど、信用乗数の大きさは大きくなる。つまり、人々が現金より預金としてお金を持ちたがり、中央銀行への預金比率が低い時ほど、信用乗数の大きさは大きくなる。

	第1銀行	第2銀行	第3銀行	...	第n銀行
現金化引き出し		$\frac{\alpha}{1+\alpha}\Delta H$	$\frac{\alpha(1-\lambda)}{(1+\alpha)^2}\Delta H$...	$\frac{\alpha(1-\lambda)^{n-2}}{(1+\alpha)^{n-1}}\Delta H$
預金の増加		$\frac{1}{1+\alpha}\Delta H$	$\frac{(1-\lambda)}{(1+\alpha)^2}\Delta H$...	$\frac{(1-\lambda)^{n-2}}{(1+\alpha)^{n-1}}\Delta H$
預け金		$\frac{\lambda}{1+\alpha}\Delta H$	$\frac{\lambda(1-\lambda)}{(1+\alpha)^2}\Delta H$...	$\frac{\lambda(1-\lambda)^{n-2}}{(1+\alpha)^{n-1}}\Delta H$
新規の貸し出し	ΔH	$\frac{1-\lambda}{1+\alpha}\Delta H$	$\frac{(1-\lambda)^2}{(1+\alpha)^2}\Delta H$...	$\frac{(1-\lambda)^{n-1}}{(1+\alpha)^{n-1}}\Delta H$

5 金融政策の種類

公定歩合：市中銀行は資金不足が生じた場合、中央銀行から資金を借りることができる。その借り入れ金利を公定歩合とよぶ。公定歩合を下げると、中央銀行の当座預金が増加し、ハイパワード・マネーが増加する。ハイパワード・マネーの増加は、マネー・サプライの増加へと結びつく。

債権売買操作：中央銀行が市中から債権を買うことを買いオペ、市中に債権を販売することを売りオペとよぶ。買いオペを行うことによりハイパワード・マネーを増加させることができる。

為替介入：政府・中央銀行は巨額の外貨を保有しており、為替レートに影響を及ぼすため外国為替市場に介入する。政府・中央銀行が外貨を売れば、それと同額のハイパワード・マネーが増加することとなる。

法定預金準備率：法定預金準備率を低下させることによって、マネー・サプライを増加させることができる。

6 金融政策の効果

金融が緩和されマネー・サプライが増加すると利子率は低下する。利子率が低下すると、投資が刺激される。投資の増加は総需要を増加させることとなり、総需要の増加はGDPの増加を導くこととなる。